



更新履歴	
8/15	大会報告 を更新しました
7/22	大会報告 を更新しました
5/21	チームデータ を更新しました

チームスローガン

遂

すべては、
勝利を“遂”げるために。

【チームデータ】

●部員数（2025/5/1現在）

- ・1年生 選手 8名
- ・2年生 選手 13名 マネージャー 1名
- ・3年生 選手 5名
- 合計 選手 26名 マネージャー 1名

●活動時間

- ・平日（火～金） 授業終了後～19:00（19:30完全下校）
※原則月曜日は休養日
- ・休日（練習時） 13:00～16:30（17:00完全下校）

●年間スケジュール

- ・7月 夏の大会
- ・8月 新人戦
- ・9月 秋の大会
- ・10月 NEWS杯
- ・3月 春の大会



【大会報告】

New

【令和7年度 中予地区高等学校野球新人大会】

8月13日（水） マドンナスタジアム（1回戦） 内子 - 松山南

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松山南	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3
内子	1	0	0	0	0	1	0	1	1×	4

9回2アウトから同点に追いつく意地を見せましたが、最終回サヨナラ負け…。悔しさを胸に、次戦こそ捲土重来を誓います！



【大会報告】

【第107回全国高等学校野球選手権愛媛大会】

7月15日（火） 坊っちゃんスタジアム（1回戦） 松山南 - 松山北

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松山南	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
松山北	0	0	0	1	0	0	0	1	1×	3

応援ありがとうございました！
新チームも引き続き応援よろしくお願いします。

甲子園懸け熱戦へ 高校野球愛媛大会開幕

第107回全国高校野球選手権愛媛大会は11日、松山市の坊っちゃんスタジアムで開幕した。午後3時半から開会式が行われ、55校49チームの選手が入場行進。試合は12日から始まり、甲子園出場を懸けた戦いが火ぶたを切る。

(21面に関連記事)

例年は開会式後に1試合を行っていたが、今大会は選手の健康面に配慮して開

会式のみとした。

昨年優勝校の聖カタリナ学園を先頭に、各チームは観衆の手拍子を受けながら、大きく腕を振って堂々と行進した。選手を代表し、新居浜商の伊藤優芽虎主将が「愛してやまない野球が100年後もこの地で愛されるよう、野球王国愛媛の復活の先駆けとして、選手全員が光り輝く熱い夏にする」と宣誓した。

大会第2日は12日、坊っちゃんスタジアム、今治、宇和島丸山の3球場で1回



開会式で力強く入場行進する選手—11日午後3時42分、坊っちゃんスタジアム(撮影・和田亮)

戦6試合が行われる。日程が順調に進めば、決勝は27日。
(渡部竜太郎)

「甲子園懸け熱戦へ 高校野球愛媛大会開幕」
2025年7月12日付愛媛新聞
(掲載許可番号：d20250713-03)



接戦の試合を応援する松山南の留学生、キラ・ハニガンさん
＝坊っちゃんスタジアム

米留学生もエール

みんなの夏

3年生や吹奏楽部員ら約400人が坊っちゃんスタジアムに駆け

松山南ダンスに切れ

母親が日本人で「もともと日本語を勉強していた」6月中旬に来日。「米国でもチアをしている。(日本の野球応援は)ダンスがいっぱ

ぎやかに。吹奏楽部の清水彩葉部長(18)は「『頑張ってる』の気持ち、より届きそうであれ、と熱を入れた。

つじた松山南。チアリーダーの中には米国から留学しているキラ・ハニガンさん(17)の姿もあり、切れのあるダンスでスタンドを盛り上げた。

「米国でもチアをしていて本当に楽しい」。猛暑に負けず、エールを送った。

試合は惜しくも敗れたが、応援団長の武智夏偉さん(18)は「日ごろから野球部が練習に励む姿を見ていた」と汗を拭う。試合終了後、接戦を演じた選手を「かっこ良かったぞ」と大きな声でねぎらった。(中野貴衣)

松山北 劇的サヨナラ

松山南痛恨 4失策で涙

自慢の「足」勝利呼ぶ

松岡124
▽審判 球審 田中孝▽塁審 中村 木原、野中
▽試合時間 2時間15分

【評】松山北が投手戦の末、サヨナラ勝ちした。先発松岡が五回まで無安打の好投。失策と捕逸で2点を失うも、集中力が切れなかつた。同点の九回、松岡の内野安打の間に河原が生還し、終止符を打った。

松山南は赤羽が伸びのある真っすぐを主体に自責点1で完投。打球が援護できず、4失

いい打球ができた。松山南・赤羽(2年生。先発し粘投もサヨナラ負け)「自己最速の136kmも出て、いいピッチングができた。3年生の姿に刺激を受けながらやってきた。北高戦でのピッチングを糧に、来年はチームを甲子園に導く」

【評】松山北が投手戦の末、サヨナラ勝ちした。先発松岡が五回まで無安打の好投。失策と捕逸で2点を失うも、集中力が切れなかつた。同点の九回、松岡の内野安打の間に河原が生還し、終止符を打った。

さらに、塁上から相手に無言のプレッシャーを与え続け、二盗にも成功。西岡の内野安打で三塁に進むと、松岡の内野安打の間にサヨナラのホームを踏み、「松岡が必死に頑張ってくれた」と喜んだ。

足をつりながらも自責点1で完投したエース松岡は「バッティングはフライが多かった。そこを反省し、次の試合は持っているものを全部出したい」。より機動力を生かすために、打力の向上を誓った。(渡部竜太郎)



【松山南―松山北】9回裏松山北2死一、三塁、松岡の内野安打で三走・河原(右)が生還し、サヨナラ勝ちを収めた
＝坊っちゃんスタジアム(撮影・岡敦司)

松山南	打	安	点	球	球
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0
24	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0
26	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0

松山北	打	安	点	球	球
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
13	0	0	0	0	0
14	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0
16	0	0	0	0	0
17	0	0	0	0	0
18	0	0	0	0	0
19	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0
21	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0
24	0	0	0	0	0
25	0	0	0	0	0
26	0	0	0	0	0
27	0	0	0	0	0
28	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0



